

新潟県社会福祉士会 災害支援活動者養成研修 2018年度

(認定社会福祉士認証研修)

本研修では、ソーシャルワークの展開過程に則り、災害発生後の各ステージに応じた生活ニーズの把握やスクリーニング等、ソーシャルワーカーに期待される機能とその実際について理解すること、また、現地へ支援に赴く社会福祉士として時々刻々と変わる被災者のニーズを適切にアセスメントし、必要な資源につなぐ役割が求められるとともに、中長期的な復旧・復興支援活動としての視野を持ち、ソーシャルワークの持つミクロ・メゾ・マクロの視点を持った側面的支援ができるソーシャルワーカーの養成を目的に実施します。

1. 日程：【1日目】2019年2月28日（木） / 【2日目】2019年3月17日（日）

※1日目のみ、2日目のみ、科目別の受講も可能です。

※認定社会福祉士の研修単位を取得したい方は、2日間のすべてのプログラムの受講が必要です

2. 会場：新潟ユニゾンプラザ 5階「中研修室」（新潟市中央区上所2-2-2） / 定員60名

3. プログラム：

【1日目】2019年2月28日（木）	
8:50～9:00	開会挨拶 / オリエンテーション
9:00～10:30	科目1 「ソーシャルワーカーによる災害支援」 （90分） / 講師：三浦修（新潟青陵大学） 災害時のソーシャルワークについて、社会福祉士の倫理綱領・行動規範と照らし合わせながら価値や原則に基づいた社会福祉士の立ち位置を理解する。
10:30～10:45	休憩（15分）
10:45～12:15	科目2 「被災者心理の基礎的理解」 （90分） / 講師：前田正治 氏（福島県立医科大学医学部 災害こころの医学講座 教授） 被災者心理を学ぶとともに、支援者自身の疲労やストレスを理解する。
12:15～13:15	昼食休憩（60分）
13:15～14:15	科目3 「災害救助法と支援制度」 （60分） / 講師：調整中 災害救助法や被災者生活再建支援法をはじめとする、被災者支援に関する主要な法・制度の概要を学ぶ。
14:15～14:30	休憩（15分）
14:30～15:30	科目4 「被災地における社会福祉士会の支援活動について」 （60分） / 講師：立川和彦（新潟県社会福祉士会災害支援班担当理事） 日本社会福祉士会が職能団体として東日本大震災時に行った被災地支援活動や新潟県社会福祉士会が中越地震、中越沖地震時に行った被災地支援活動から、災害支援時における社会福祉士の立ち位置について理解する。
15:30～15:40	休憩（10分）
15:40～16:40	科目5 「社会福祉士による支援活動の実際～【支援を受け入れた立場から】 （60分） / 講師：本多博樹（南魚沼市社会福祉協議会） 災害（地震、水害等）発生時に支援を受けた立場の社会福祉士から、被災地の実際を説明し、災害支援活動者が実際の被災地の状況と支援活動の現状を知る。
【2日目】2019年3月17日（日）	
8:30～	受付
9:00～11:45 (途中休憩含む)	科目6 「社会福祉士による支援活動の実際～【支援に赴いた立場からⅠ－災害ソーシャルワークにおける積極的ニーズ把握・アセスメントの実際－】 （講義30分・演習120分） / 講師：佐藤正枝（燕市分水地区地域包括支援センター） 発災時の初期段階でソーシャルワークの展開過程に則り行われるアウトリーチにおけるニーズキャッチ、アセスメントの過程に焦点を当て、福祉・生活支援の視点から、生活ニーズの把握およびスクリーニング等ソーシャルワークに期待される機能とその実際について理解する。
11:45～12:30	昼食休憩（45分）

12:30～15:30 (途中休憩含む)	科目7「社会福祉士による支援活動の実際～【支援に赴いた立場からⅡ－被災地域ネットワーク・再構築の実際一】」 (講義 15分・演習 150分) / 講師：渡邊豊(新潟医療福祉大学) 被災地で支援活動を行う社会福祉士が、被災地域ネットワークの再構築(地域への支援)を行う際の視点や立ち位置を理解する。
15:30～16:00	休憩(10分)
15:40～16:40	科目8「災害対応ガイドライン・マニュアルの理解」 (60分) / 講師：星井勝博(新潟県社会福祉士会会長) 新潟県社会福祉士会の会員として災害支援活動に参加するにあたり、災害対応ガイドライン・マニュアルを理解する

5. 受講対象者(申込区分別)と区分別修了要件・受講料

	【区分1 / 認定参加】 認定社会福祉士の研修単位を取得したい方	【区分2 / 一般参加】 左記以外の方
受講条件	社会福祉士有資格者	下記のいずれかに該当する方 ①都道府県社会福祉士会に所属し、研修受講後に各都道府県社会福祉士会等で災害支援活動を行う(予定)の方 ②災害支援活動について学びを深めたい方(社会福祉士でなくても参加可能です)
修了要件について	以下のすべてを満たすことで修了となります。 ①事前課題を提出すること。 ②すべてのプログラムに出席すること。 ③事後課題を提出すること。 ④各講義・演習において15分以上の遅刻・早退・途中退席がないこと(※15分以上の遅刻・早退・途中退席があった場合は、原則、研修は未修了となります)	受講申込したプログラムに出席すること。
事前課題	あり(「6.事前課題と事後課題」参照)	なし
事後課題(修了レポート)	あり(「6.事前課題と事後課題」参照)	なし
修了後の単位付与	認定社会福祉士の研修単位として以下の単位を取得できます。 研修認証番号：20170011 研修単位：1単位 科目名：災害対応・支援(分野共通) 科目の区分：分野専門(地域社会・多文化分野) 科目の群：ソーシャルワーク機能別科目群	特になし。
受講料	都道府県社会福祉士会会員 9,000円 非会員 15,000円	1日間のみ参加の場合(1日あたり) 新潟県社会福祉士会会員 3,000円 上記以外の方 5,000円 ※2日間参加される場合は、【上記金額×参加日数】となります。 科目ごとの参加の場合(1科目あたり) 新潟県社会福祉士会会員 1,000円 上記以外の方 3,000円 ※複数の科目に参加される場合は、【上記金額×科目数】となります。

6. 事前課題と事後課題（区分1／認定参加の方のみ）

【事前課題】

■ 以下の①、②のレポートを作成し、**受講申込時に申込書と一緒に提出ください。**

- ①あなたが在住する地域又はあなたの職場のある地域における要援護者対策を調べ、その実状についてレポートにまとめてください（800字程度／有効文字数は規定の前後2割まで）
- ②災害によって被災者に生じると考えられる生活課題や喪失体験にはどのようなものがあると考えられるか、レポートにまとめてください（800字程度／有効文字数は規定の前後2割まで）

【事後課題（修了レポート）】

■ 2日間の研修を受講したうえで、以下の①、②のレポートを作成いただきます。提出期限・提出方法等は追ってご案内します。

- ①個人レベルの支援：被災者が避難所から仮設住宅に移る段階で生じると考えられる生活上の課題を述べ、その課題に対しどのようなソーシャルワーク機能が必要か、レポートにまとめてください（2000字程度／有効文字数は規定の2割まで）
- ②地域レベルの支援：災害支援において、地域に対してどのようなソーシャルワーク機能を発揮し、どのような働きかけや取り組みを行う必要があるか、「災害時」および「平常時」それぞれの視点をふまえてレポートにまとめてください（2000字程度／有効文字数は規定の2割まで）

7. 申込方法及び受講決定【申込期限：2019年1月10日（消印有効）】

- ①別紙の申込書をご記入のうえ、上記申込期限までに新潟県社会福祉士会事務局までお申し込みください。申込書は当会ホームページからもダウンロードが可能です。
- ②申込期限以降、1月20日頃までに受講者ご本人に受講決定通知を送付します。事前課題の提出方法や受講費の納入方法等については受講決定通知でお知らせします。
※受講申込者が少ない場合、開講しない場合がありますので予めご了承ください。
※定員を超えた場合は、新潟県社会福祉士会会員の方を優先させていただきます。

9. 主 催：公益社団法人新潟県社会福祉士会

10. 研修単位

本研修は、認定社会福祉士認証・認定機構により認証された研修です。

研修認証番号：20170011／研修単位：1単位／

科目名：災害対応・支援（分野共通）／科目の区分：分野専門（地域社会・多文化分野）／科目の群：ソーシャルワーク機能別科目群

※高齢分野、障害分野、児童・家庭分野、医療分野のソーシャルワーク機能別科目群の単位の振替可能

11. 問合せ先：公益社団法人新潟県社会福祉士会事務局（担当：畠山）

〒950-0994 新潟市中央区上所2-2-2 新潟ユニゾンプラザ3階

TEL：025-281-5502／FAX：025-281-5504／メール：njacsw@poplar.ocn.ne.jp